

令和 5 年 10 月 経営状況調査 結果報告

調査目的 : 会員事業所を対象に、地域経済の現状把握と支援策の策定を目的として、新型コロナウイルス感染症や原油・エネルギー価格、原材料価格の高騰等による経営への影響を調査し、今後の支援ニーズなどを把握する。

調査対象 : 八戸商工会議所会員 100事業所

調査期間 : 令和5年9月26日～10月13日

調査方法 : 調査票を郵送し、FAX及びインターネットアンケートで回答

備考 : 各設問の構成比は無回答数を除いた有効回答数(n)を基に算出。

回答事業所数	66 件	回答率	66.0%
--------	------	-----	-------

<p>1. 新型コロナウイルス感染症による影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等の通常開催などにより、飲食業・宿泊業を中心に売上が戻り、宿泊業に関しては大幅に増えてきている。 ・ 今回聞き取りした66社(者)のうち、前年比で売上が「増加」と回答した事業所は25社(者)、「横ばい」と回答した事業所は16社(者)、「減少」と回答した事業所は25社(者)だった。 ・ 業種の偏りはなくほとんどの業種において、前年比で売上が「増加」と回答した。 ・ ウッドショック後の価格低下により影響がでてきている。(卸売業)
<p>2. 原油・エネルギー価格高騰による影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原油・エネルギー価格や原材料、仕入価格の高騰による影響について、今回聞き取りした66社(者)のうち、65社(者)が「とても影響がある」「ある程度影響がある」と回答。 ・ 電気料金値上げにより前回調査時よりもコストの負担が大きくなっている事業者が増えている。 ・ 電気料金の値上げにより経費がかさみ、利益がほぼでない。(小売業) ・ エネルギー価格高騰により経営に非常に影響がある。(宿泊業) ・ 燃料費が高止まりの状況。トリガー条項の凍結解除など見直ししてもらいたい。(運輸業)
<p>3. 原材料、仕入価格の高騰による影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰等により、施設の長期修繕計画の進捗に大きく影響してきている。(商業施設) ・ ほとんどの物が値上がりしていることにより、コスト削減が難しい。(建設業) ・ 部品や材料の高騰等により、施工可能な工事の発注が少ない。今後も見通しは暗い。(建設業)
<p>4. 価格転嫁等の対応状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回聞き取りした66社(者)のうち、価格転嫁を「全くできていない」と回答した事業所は、19社(者)だった。「運輸業」「卸売業」では価格転嫁を全くできていない事業所の割合が増加している。 ・ 100%価格転嫁できている事業所は、66社(者)中2社(者)のみにとどまった。 ・ 原材料やエネルギー価格等の高騰による影響を価格転嫁により対応している事業所は、66社(者)中36社(者)であり、次いでコスト削減により対応している事業所が19社(者)であった。 ・ 仕入価格の値上りに加え運送費も高騰したため、消費者への販売価格に転嫁せざるを得ない。よって買い控え傾向を止められない。(小売業)